

大阪市を廃止して特別区を設置する制度設計について

9月2日 大都市・税財政制度特別委員会

・介護保険事業の一部事務組合と議員定数について

1点目は、特別区設置の制度設計において、介護保険事業が一部事務組合に設計されている点について地域の特性にあった施策の実施、ニアイズベターといいながら介護保険事業が特別区では決められなくなる矛盾を指摘。基礎自治がないがしろ。2点目は現状の議員定数をそのままでは定めることについては、住民自治をないがしろにしていると指摘。

11月1日 大都市・税財政制度特別委員会

・介護保険事業の一部事務組合の課題と社会福祉協議会の解散について

1点目は、一部事務組合のような形態で運営されている、門真市、守口市、四条畷市の介護保険の連合体。20年たっても課題が解消されていないと指摘。2点目は、大阪市社会福祉協議会と24区社会福祉協議会が解散になることについて。委託を出している大阪市はなくなり、多くの業務委託を受けている社協もなくなる。介護保険でいうと委託出す側は、一部事務組合になり、受ける社協はなくなる。こうした課題はいったいどこで誰が考えているのか?と指摘。



税財政制度特別委員会

市営住宅の維持管理業務の指定管理者制度導入について

10月9日 本会議 武直樹から提案した付帯決議が全会一致で可決されました。

「市営住宅の維持管理業務の指定管理者制度導入について」は、賛成多数で可決されましたが、修繕費等の経費削減といった、いかに効率化できるかという「管理的観点」のみでは不十分。住宅管理者は、入居者同士のつながりづくりや、自治会等が活性化するように働きかけていく必要があるため、武直樹から「市営住宅の指定管理者の選定に際しては、住宅困窮度が非常に高く、生活に配慮を要する方々が多く暮らしていることから、いかに効率化できるかといった観点だけでなく、入居者、自治会、地域の関連団体等との連携の視点も踏まえた居住支援サービスの提供を優先度の高い項目として配慮されるよう要望する」付帯決議を提案させていただきました。全会一致で可決。



本会議提案

民主主義の根幹について

10月2日 市政改革委員会

・市民参加の原理原則について

市や区役所主催のイベントやワークショップ等に参加することについて、主催する行政側が議員の参加を制限する規定はない。様々な立場の市民が議員になっており、肩書も専門性も違う。立ち位置も違い、一律に制限することは不可能。民主主義の根幹に関わることで、今後気をつけていただくとともに、これを機会に改めて民主主義の原理原則について考えていただくよう要望。

11月11日 一般決算特別委員会

・行政における広報物の規制と憲法21条表現の自由の保障について

質疑を通して、明らかになったことは、政治的中立性の担保のポイントは、①時期が選挙前かどうか? (例)大阪市長選挙は3ヶ月前。②内容が政治的な広報物なのかどうかの精査。精査した上で、規制をかけるなら合理的な理由と明確な判断基準が必要。議員の兼職は問題ない。議員は様々な職業や役職を兼務している。議員でない肩書きで掲載されることは規制できる内容でない。疑いがあると規制することにより逆に中立性を損なう。人権、民主主義の根幹が侵されていることに危機感を覚えることを指摘し、引き続き調査し、事実確認をしていくことを要望。

介護保険の認定調査の遅れについて

11月11日 一般決算特別委員会

市民にもケアマネジャーにも多大な迷惑をかけている、原因を明らかにして、改善を要望。



市政改革委員会



一般決算特別委員会

大阪市会 中継 検索 ライブ、録画をご覧ください。

ありったけのチカラで生野のために!

たけ 武なおき
ケアマネジャー・社会福祉士
大阪市議員



いいね! お願いします Facebook

武なおき プロフィール 1972年(昭和47年)12月26日生。同志社大学大学院社会福祉学専攻博士課程(前期)修了。生野区社会福祉協議会職員として7年間、生野区の福祉のまちづくりに携わる。NPO法人いくの市民活動支援センターを立ち上げ、社会福祉士・ケアマネジャーとして、大阪市、生野区のまちづくりに奮闘中。2011年(平成23年)4月より大阪市議員。現在3期目。子ども3人と妻の5人暮らし。

2019年4月7日 皆さんから7,897票をいただき、3期目の当選をさせていただきました。4月30日から新任スタートさせていただきましたもうすぐ1年です。「議員の見える化」「対話による政策づくり」にこだわり、引き続き地道に活動しています。



顔が見えるまちづくりですべてのひとに出番と居場所を!!

問い合わせ先 武直樹市民協働事務所 mail : take@take-naoki.com 〒544-0015 大阪市生野区巽南1-2-3 ☎06-6753-6714

2度の落選、1人親経験、親の介護、七転八倒、山あり谷ありでここまでできました。現在、介護と子育て真っ最中の議員事務所は、総合相談窓口です。

現在介護中、子育て真っ最中で、いつも七転八倒、山あり、谷ありです。当事者だからこそわかることがあります。有り難いことに毎日毎日新規のご相談があります。生活のこと、介護のこと、不動産のこと、道路のことなど、あらゆる分野の相談です。役所が、いかに縦割りでワンストップの窓口になっていないか、寄り添い支援の相談ができていないかが、ひとつひとつの事例からみえてきます。「自分の窓口は担当ではないから」「自分のところではできないから」と断られても、そのお困りの市民の方は何かしらの対応をしていかなければなりません。そういった、役所で十分うけとめられなかったケースの相談が議員事務所に多いのも特徴です。もう1歩、丁寧な説明をし、適切な窓口につなぐ、何かできることがないか一緒に考えることがとても大事だと実感しています。いろんな施策が縦割りになっているので、自分の担当以外のことは、責任所在があいまいになり、このつなぐ機能が果たせてない、意識的に取り組めていません。ひとつひとつの相談事例を通じて、少しでも仕組みの改善につなげていきたいです。こうした小さい声、声なき声に耳を傾け、何ができるか一緒に考えていくことがソーシャルワーカー(社会福祉の専門家)出身の武直樹の役割だと考えています。引き続き、こうした市民の皆さんのくらしの声、現場の声を議会を通じて行政に届けていきます。

新会派は「市民とつながる・くらしが第一」

議会活動の基本となる会派は、前任期は、1人会派でしたが、今回は、住之江区で無所属で当選した松崎とおる議員と「市民とつながる・くらしが第一大阪市議員団」を2人で結成しました。武直樹は「市民とつながる」、松崎議員は「くらしが第一」です。

議会で話し合う内容は、非常に幅広く複雑であるため、すべてのことを83人の全議員が集まる本会議で十分に審議を行うことは、時間がかかり効率的ではありません。議会では、専門分野ごとに分かれて、案件を審査していきます。武直樹は下記の3つの委員会に所属して議論に参加しています。

・市政改革委員会 ・一般決算特別委員会 ・大都市税財政制度特別委員会

今年度取り上げた内容は、裏面で紹介します。



松崎議員と控室で

**「対話による政策づくり」にこだわり、
皆さんとの対話から見えてきた課題について議論を進めています。
お陰様で皆さんと一緒に考える機会をたくさんいただいています。**

自治フォーラムおおさか再スタート

市民の皆さんに参加参画していただき、同じテーブルで身近なテーマや行政システムについて考えていくことをコンセプトに定期的開催しています。

自治フォーラムおおさか 検索



自治フォーラム (第13回)

第13回は、9月28日「空き家の利活用」。第14回は、11月9日「SDGs時代の公共調達を考える」。第15回は、2月15日「緊急勉強会!! どうなる学校統廃合? 大阪市条例を考える」。次回は3月28日に、第16回「これからの社会運動を考える ~未来への大分岐~」を開催予定。



自治フォーラム (第14回)

皆さんと一緒に考える対話集会や 座談会、勉強会にたくさん呼んでもらっています。

5月12日「地域共生社会に向けて」、22日「未来に向けて地域座談会」、25日「共感のトークライブ~自分らしい生き方と実践力・実現力~に」、7月25日「地域共生社会における社会福祉法人の役割について」、10月16日「特別区設置で大阪市の介護保険はどうなるのか?」、22日「みんなの相談所 完全無所属のロックンローラー 座談会」、23日「住民参加の自治・議会のあり方について」、11月22日「介護保険、一部事務組合、市・区社会福祉協議会の課題」、12月20日「生野区歯科医師会とケアマネジャーとの意見交換会」、1月19日「関西の介護福祉交流会 対話座談会」、2月19日「特別区介護保険はどうなるのか」以上メインとして参加。一参加者としては他多数。



社会福祉法人連絡会での講演



大阪市の廃止を考えるシンポジウム



みんなの相談所

いろんなテーマのプラットフォームや 会議体に参加して声を聴かせてもらっています。

例えば、多文化共生のプラットフォームの取り組みに参加。多文化共生施策も縦割りになりがちです。横断的な取組が必要です。そのためには、多様な活動主体が参加参画できるテーブルが必要です。そのテーブルから、次の一步の具体的な取り組みが進んでいます。武直樹は武直樹の役割で応援しています。

6月30日「市民主役で多文化共生のまちづくりに挑戦する」シンポ。
11月18日「多文化共生のまちづくりに必要な視点とは」勉強会。
2月16日「生野区×多文化共生×大学 子どもの育ちと教育を考える」シンポ。



多文化共生勉強会

ありったけの
チカラで
生野のために!

武なおき
たけ



現場の皆さんからお聴きしたことを深めるために研修会参加や視察を実施しています。

11月に住民投票が予定されており、特別区設置についての課題を明らかにするために委員会視察や会派視察で、「目黒特別区役所」「豊島特別区役所」「東京都特別区人事・厚生事務組合」「区長会事務局」へ。一部事務組合、特別区への財政調整について説明聴取してまいりました。他にも日々研修参加や視察を実施しています。



自治体青年ネットワーク研修会

介護支援専門員連盟研修会



生野区学校視察

12月25日 2020年度(令和2年度) 予算要望を行いました。

研修会、勉強会、視察で深めた施策、皆さんからいただいた声やアイデアを政策としてとりまとめ、議会での委員会質疑や予算要望書という形で大阪市に要望します。

12月25日に2020年度の予算要望を行いました。

武直樹 予算要望 検索



予算要望

議会の見える化

実はとても身近な議会です。議会のことを知っていただくことが住民自治の第1歩です。ありがたいです。議会見学いつでも相談してください。どなたでもいけます。



議会見学会

10月23日(35名参加)、12月17日(31名参加)「議会見学会」開催
12月26日(76名参加)「高校生と大阪市議員との意見交換会」開催



議会見学会(議長室)



議場に高校生を案内

大阪マラソンに参加し完走しました。

今年度から生野区がコースに入った大阪マラソン。ダメもとで応募したところ、なんと抽選で当たりました。しかし、8月末まで全然準備ができず焦りました。12月1日の本番まで、どこから時間を捻出さなくてはならず、これまで行ってきた朝の街頭活動の時間をあてさせていただきました(朝の街頭活動休んでたいわけです)。おかげさまで、5時間42分53秒で完走することができました。



生野区中川35km地点



完走の記念にバジャリ

2月3月議会

2月7日から2020年度予算を審査する議会が始まっています。3月26日までです。2月21日の本会議で大阪市立学校活性化条例改正案には反対させていただきました。2月3月の議会報告は、次回40号の市政報告でさせていただきます。